

竹本駒之助 吉田和生

女流義太夫

—人間国宝の競演—

文楽人形

人形浄瑠璃公演

「恋女房染分手綱 重の井子別れの段」

太夫 竹本駒之助 三味線 鶴澤津賀花 人形 吉田和生 他



かつての芝居小屋を思わせる空間で、間近で触れる名人の至芸。人間国宝二人による、女流義太夫と文楽人形の夢の競演が再び実現します。

第一部 人形浄瑠璃公演
恋女房染分手綱
「重の井子別れの段」
第二部 人間国宝対談
竹本駒之助×吉田和生

2021年7月10日(土)

14:30 受付開始・開場
15:00 開演

■入場料 8,600円(当日9,000円) *蔵出し限定酒などのワンドリンク付

■会場 白鷹緑水苑 2階宮水ホール

■全席指定 80席

★収容人数を限定しての開催となりますので、満席の際はご了承ください。
★お申し込みについては裏面をご覧ください。

お問い合わせ

白鷹緑水苑

TEL0798-39-0235 FAX0798-39-0236

E-mail: info@hakutaka-shop.jp

URL: http://www.hakutaka-shop.jp

人間国宝による、女流義太夫と文楽人形の「夢の競演」

酒どころ西宮は、文楽の源流「傀儡師」発祥の地といわれ、古くから芸能と大縁の深い町です。西宮の歳元・白鷹緑水苑では開苑以来、この酒都から能や文楽の催事を中心に、今に生きる伝統芸能を発信してゆこうという試みを続けています。その一つとして開催しているのが人間国宝の竹本駒之助師を中心とした女流義太夫の会です。第五回目となる今回は、白鷹緑水苑開苑二十周年を記念して、十三年にわたり白鷹緑水苑の文楽公演「酒屋万来文楽」にご出演いただいた吉田和生師をお招きし、人間国宝お二人による競演を企画いたしました。江戸時代中期に生まれた「女流義太夫」は、歌舞伎や人形浄瑠璃文楽で演奏される義太夫節に対し、役者や人形を伴わない、語りと三味線のみによる「素浄瑠璃」という形で芸が継承されました。この女流義太夫ならではの語り磨きをかけ、声量の豊かさ、すぐれた人間描写など、現在、男女を超えて最高峰の一人と称されるのが竹本駒之助師です。

通常、素浄瑠璃で演奏される女流義太夫ですが、関西では実に約六十年ぶりとなった2018年の上演に続き、再び緑水苑にて女流義太夫と文楽人形の夢の競演が、人間国宝お二人によって実現します。演目は、母子の悲しい別れを描いた「恋女房染分手綱 重の井子別れの段」です。大恩ある主家への忠節と、一人の母親としての愛情の板挟みとなる重の井の苦悩、親子と名乗れないままのつらい別れとなる幕切れの深い哀切が胸に迫り、磨き抜かれた語りの魅力が遺憾なく発揮されます。折も折、四月の大阪文楽公演でも同作が上演されることとなり、和生師が遣う重の井が「百千色の憂き涙」にむせぶ名場面を、文楽義太夫と女流義太夫の両方でお聴きいただけるまたとない機会となりました。公演後の第二部では、お二人による対談形式で、関西におけるかつての女流義太夫界、文楽界、また両者の交流についてなど、貴重なお話もおうかがいします。

「恋女房染分手綱 重の井子別れの段」あらすじ

関東へ興入れすることになった由留木家の調姫が出立の際、江戸下りを嫌がり駄々をこねるが、幼い馬方の三吉が道中双六を披露して姫の機嫌を直す。三吉に褒美を与えようとした乳母・重の井は、三吉こそ昔別れた我が子であるとする。乳母の務めと母の情愛の間で板挟みになりつつも、心を鬼にして親子の名乗りを拒む重の井。三吉は涙ながらに馬子唄を唄いながら去り、重の井は身を切られる思いで子を見送る。

お座席指定について

受付時の混雑をさけるため、全指定席とさせていただきます。座席数僅少のため、左記の点にご留意しご理解賜りますようお願い申し上げます。
 *お申込み受付後、ご入金順に前列中央から、左右両側へ順番にお席を指定させていただきます。
 *個別のお座席指定及お申込み時のお座席確認には、ご対応できませんのでご了承ください。
 *お申込み後、当方よりお席確保の連絡をさせていただきますので、その後に支払いはお願いいたします。
 *お支払い期限(当方よりご連絡させていただいた日から数え、金融機関休業日も含めて7日以内)を過ぎてもご入金を確認できなかつた場合、自動的にキャンセル扱いとなりますのであらかじめご了承ください。
 *チケット番号はお座席番号でもありません。中央から左右に振り分けられていますので変則的な並び順となります。

お客様へのお願い・お断り

*37.5度以上の発熱があるお客様、咳、くしゃみ、喉の痛み等の症状があるお客様はご来場をご遠慮ください。
 *マスク未着用のお客様のご入場はご遠慮いただきます。
 *会場内でのお客様同士の会話はお控えください。
 *当ホールは厚生労働省が推奨する必要換気量を満たす換気装置を備えています。念のため、会場入口扉及び天窓の一部を開放しております。換気音や若干の生活音がいたしますが、ご了承ください。
 白鷹緑水苑のイベント講座は、感染症対策を講じた上で開催しております。詳細はホームページをご覧ください。

蔵出し限定酒	ショップ 美禄市 11:00~19:00
蔵出し一献 日本酒酒房	蔵BAR 12:00~17:00 (土日祝のみ営業)
旧き良き 暮らしの美	暮らしの展示室 11:00~18:30 見学無料
伝承の灘酒 その技法	白鷹集古館 11:00~18:30 見学無料
イベントホール レンタルスペース	宮水ホール 茶室 悦庵
鰻料理 懐石料理	東京 竹葉亭 西宮店 11:30~14:30 (土日祝11:00~15:00) 17:00~21:00 TEL:0798-37-3939



白鷹緑水苑
灘酒文化の発信地
[本物主義] 昔も今も、これからも。

ご予約・お問い合わせ 白鷹緑水苑 (11:00~19:00 1・3水曜定休)
Tel. 0798-39-0235 Fax. 0798-39-0236

前売チケットは白鷹緑水苑にて販売中。申込み用紙にてFAXあるいは郵送で、またはHPよりご予約いただいた後、お申込み受付時(当方よりご連絡させていただいた日)から数えて7日以内に下記口座へお振込ください。振込確認後にチケットを郵送させていただきます。*銀行営業日、振り込み反映日にご注意ください。

三菱UFJ銀行 西宮支店 普通 4608446 ニシノミヤハツイマデントウ

- *恐れ入りますが、振込手数料はご負担いただけます。*お振込先が白鷹緑水苑ではございませんので、ご注意ください。
- *前売券完売の場合、当日券の販売は中止とさせていただきます。*購入後のキャンセル、変更不可です。
- *公演中止の場合、チケット代金は返金させていただきます。尚、お振込み手数料のご返金はご容赦願っております。

インターネット予約はこちら→ <http://www.hakutaka-shop.jp/>



「第五回 酒都で聴く女流義太夫の会」お申し込み用紙 Fax. 0798-39-0236

氏名	ふりがな	電話	
住所	〒		
メール		FAX	
指定席 () 枚		*ご予約・お座席指定等に関する上記内容を事前にご確認の上、お申込みください。 *《お客様へのお願い・お断り》もご確認ください。	

〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町5-1
TEL0798-39-0235 FAX0798-39-0236
E-mail: info@hakutaka-shop.jp



阪神西宮駅南へ徒歩8分